

精道村発足 130 周年記念事業「芦屋と阪神間モダニズム」

1. 事業の概要

平成 31 年は、芦屋市の前身である精道村が明治 22 年（1889）に発足してから 130 周年となる。精道村の時代は、まさに「阪神間モダニズム」の時代であり、この時代を知ることは今後の本市の魅力発信にとっても大変有意義であると考えます。



そこで、精道村発足 130 周年を機に、戦前の芦屋と阪神間モダニズムについて調査・研究し、その成果を市民に広く発信する本事業を実施する。本事業を実施し、芦屋の近代化の歴史を市民が広く共有することによって、市民の本市への誇りや愛着が育まれ、本市の魅力が向上すると考える。

2. 事業の実施内容

事業の具体的な内容と実施時期等については、次のとおりである。

- 4 月 『広報あしや』に戦前の芦屋の写真等の募集記事を掲載。対象の撮影年は、昭和 20 年以前。市民から情報提供のあった写真を、随時、デジタルデータ化する。
- 4 月以降 市民を対象に戦前の芦屋について聞き取り調査を実施する。
- 6 月以降 市のフェイスブック等で、聞き取り調査の内容や収集した古写真等、戦前の芦屋に関する記事を発信する。
- 11 月 芦屋川沿いの歴史的建造物や近代の文化財を巡り、芦屋の近代について解説するまち歩きイベントを 1 日開催する。参加人数は 30 名程度を想定する。
- 12 月 『広報あしや』に戦前の芦屋と阪神間モダニズムの特集記事を掲載する。記事には、調査・研究の成果も盛り込む。
- 12 月 今回の調査・研究成果を盛り込み、戦前の芦屋に小学校高学年でも理解できる内容のパンフレット『(仮) 芦屋と阪神間モダニズム』を 10,000 部発行し、市内の小・中学校の児童・生徒及び市民に無料で配布する。

以 上